

平成 30 年度 住民懇談会 まとめ（生路コミュニティセンター）



開催日：平成 30 年 12 月 20 日（木） 午後 7 時～9 時

会 場：生路コミュニティセンター

出席者：【町】町長、企画政策部長、建設部長、建設部次長、建設部技監、広報情報課長、都市計画課長、広報情報課長補佐兼広報統計係長、都市計画課長補佐兼都市計画係長、都市計画係、事務局（広報統計係）

【講師】名城大学都市情報学部 海道清信教授

【参加者】20 名

（司会）

みなさん、こんばんは。住民懇談会を始めます。

東浦町では、平成 29 年度に東浦町景観条例を施行しました。

今日の住民懇談会では、「景観」を守り、創り、育てることについて、みなさんと意見を交わしていきたいと思います。

それでは、神谷町長よりご挨拶を申し上げます。

（町長）

こんばんは。

住民懇談会については、毎年 1 回、各地区で行いたいと思っています。一昨年は、「地域福祉」をテーマに住民懇談会を開催しました。昨年は、「子育て」をテーマに各地区の保育園や児童館で行いました。緒川保育園については、駐車場が少ないという問題がありましたが、住民懇談会がひとつのきっかけとなり、駐車場を増やすに至りました。住民懇談会を行った効果が少しずつ出てきているのかなと思います。

東浦町では、何年もかけて専門家の方や住民の方にもご協力いただき、景観計画・景観条例を策定しました。景観については、都市が形成され始めた高度成長期を過ぎ、現在は成熟期にありますので、量よりも質を追求していくべきだと思っています。よりよい生活空間を作っていくために、景観について、真剣に考えていきたいと思っています。

例えば、イオンの増築や、マンションの新築、カリモクの増設など、条例に基づいて色合いや高さを変更していただきました。このような大きな開発以外にも、それぞれの地区のよさを伸ばしていこうという取り組みもあります。

景観計画の中で、4 つの重点区域候補地区が定められており、その特徴をいかしたルールづくりを行っていききたいと思っています。緒川地区では、「明徳寺川流域」の田園風景と「屋敷のまち並み」。

森岡には、「ぶどう畑」がたくさんあります。斜面にぶどう畑が並んでいる景色は、東浦町に住んでいる人にとっては当たり前の景観かもしれませんが、外から来た人にとっては、特徴ある景観です。

「生路の郷中」は、鉤（かぎ）の手がたくさんあるような地形をしており、黒塀の家

屋が並んでいます。この特徴的な地形・地性を含めて、伸ばしていければと思っています。

今回は、実際に住んでいる方と、景観についての理解と共通認識をつくりたいと思っています。

行政側とみなさんとで自由にお話していきましょう。よろしくお願いいたします。

(司会)

みなさんの中には、景観についてあまり詳しくない方もいらっしゃるかと思います。まずは、海道先生より、東浦町の景観について専門的な見地からご説明いただきます。

海道先生は京都大学大学院をご卒業され、地域振興整備公団で勤務をされたのち、現在、名城大学都市情報学部都市情報学科教授として教鞭をとられております。

都市デザイン・都市再生等の都市計画を専門にしておられ、持続可能な都市形態、人口減少時代の都市や地域のあり方、住民参画のまちづくりなどについて調査研究に取り組んでおられます。

また、社会的活動としましては、東浦町の景観まちづくり委員会の委員長の他、美濃加茂市未来のまちづくり委員会会長、島田市都市計画マスタープラン等アドバイザー会議会長など、数多くの場でご活躍されております。

【海道先生による説明】

※説明については、「別添 テーマ資料」のとおり

(司会)

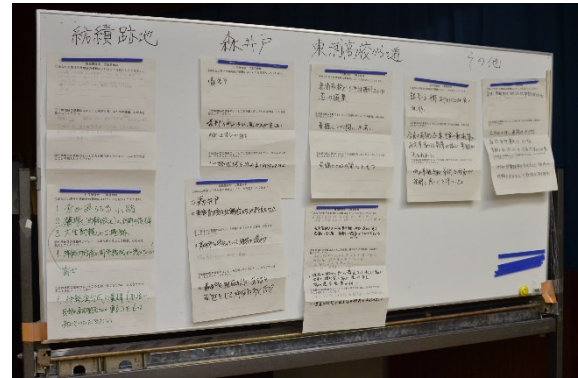
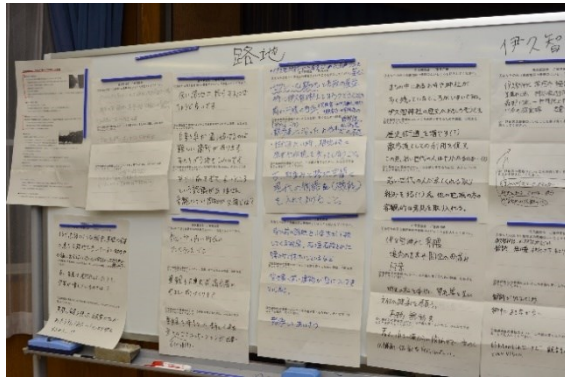
まず、生路の郷中地区が、景観計画の重点区域候補地区になっているということをご存じだった方はいらっしゃいますでしょうか。なかなかまだご理解いただけていないのが現状だと思います。

みなさまに、ご意見用紙を配付しています。①あなたの思う生路地区の景観のよいところ②生路地区の景観のよいところを創り育てるための課題、心配点③生路地区の景観のよいところを創り育てるために、みんなでできることをそれぞれ記入してください。

【出されたご意見】

参加者の方々に、上記①～③について紙に書いて挙げていただきました。分かりやすいよう大まかな分類をし、全てのご意見を紹介しました。

※みなさんのご意見については、「別添 ご意見用紙」のとおり



(司会)

大きくカテゴリーで分けると、路地、伊久智神社、紡績跡地、森井戸、東浦高校の5つに分けられました。区長さんどうですか。

(生路区長)

みなさん生路の景観に関心を持っていただけていて、嬉しいです。今日の意見が文字で伝わるような方法を考えてほしいと思います。今回の住民懇談会について、知らない人もたくさんいると思いますので。

(司会)

今回の内容は、広報やホームページで紹介させていただきます。

では、一番意見の多い路地から紹介させていただこうと思います。

①あなたの思う生路地区の景観のよいところを記入してください。	②生路地区の景観のよいところを創り育てるための課題、心配点を記入してください。	③生路地区の景観のよいところを創り育てるために、みんなのできることを記入してください。
・伊久智神社から屋並ごとに衣浦湾を望む ・セクシーな路地と黒板の屋並、特に伊久智神社と喫茶まろうどさんとの間の円環のまちなみ ・天満宮→伊久智神社→観音寺→常照寺の散歩道	・セクシーな散歩道に沿ったお食事処の不足 ・世代交代時、相続時に歴史や伝統を失ってしまうこと	古いまちなみと路地空間に現代の物語（機能）を入れてあげること

(参加者)

セクシーな路地と書かせていただきました。

私は、緒川に住んでいましたが、豆搗川を越えて生路に移住してきました。生路のまちなみを歩いていると、緒川では野村酒造などの古い建築物がなくなってきていますの

で、生路には嫉妬するくらいのセクシーさがまちなみに残っていると思っています。

弘法道沿いの天満宮から伊久智神社、観音寺、常照寺に抜けていくルートは、私の朝の散歩道ですが、全く飽きることがありません。また、伊久智神社から、高浜の方を見ると、衣浦湾を望む景観はとても素敵です。そして、喫茶まろうどから伊久智神社の間は、円環状に古い板塀やしっくいの家並みが残っています。

これらの景観は、知多半島全域を見回しても、特徴的だと思います。今現在、生路に住んでいるみなさまがどう思っているのか知りたいです。

(司会)

生路に住んでいる方で、ご意見のある方いらっしゃいますか。

(参加者)

私は石浜に住んでいます。ふるさとガイドで案内をしています。

生路の路地の小路の中に、蔵が4つ5つと、たくさん残っている場所があります。珍しいので、そこをよくみなさんに紹介しています。

(海道先生)

生路の路地には名前があるのですか。

(参加者)

名前というよりも、字道だと思っています。昔だと、南下屋敷といった名前でしたが、今は3南、3北という言い方をしています。地区の区分けがもう少し大きくなりました。

部落の付き合いも昔はありましたが、今はありません。昔は、字ごとに冠婚葬祭で使う掛け軸などを管理していましたが、現在では、それ自体どこに行ったか分からない状態です。

(海道先生)

路地の草刈りなどはどうしているのですか。

(参加者)

自分たちで行っています。

(海道先生)

一斉に行う日はありますか。

(参加者)

年に一度の「ごみゼロ運動の日」があります。

(海道先生)

路地を舞台にした行事などはありませんか。そういった行事があるとよいと思いました。例えば、路地に花を植えたり、路地に名前をつけたりするなどの行事です。普段歩いている路地については、当たり前すぎて気にしていないですが、昔を掘り起こしてみると新しい発見があると思います。

(参加者)

地域の歴史について調べてみたことがあります。生路小学校の西側には、小さな碑があります。それは、昭和天皇が御大典（ごたいてん）された時の道で、御大典道といわれています。

また、折戸には、青少年学徒の道といわれている道があります。これは、昭和 14 年に全国の小中学生の生徒を皇居に集めて天皇の親謁（しんえつ）式が行われた時につくった道だそうです。

(海道先生)

戦争の思い出が強く残っている場所があるのでしょうか。以前、生路地区では、黒板塀は、戦争中に空襲にあわないために黒く塗ったと聞きました。しかし、他の地区では、古い船を家の材料としたため、フナ虫をやっつけるために黒く塗ったと聞きました。

黒壁や路地などには、その地区の歴史が詰まっていると感じます。路地に名前をつけたりすることで、次の世代に伝えていくことができると思いました。

(司会)

路地というところで、「弘法道の丁石（ちょういし）は守っていきたい。1 丁目と 3 丁目は資料館に移して保管されている」というご意見をいただきました。私も知らなかったなので、ご紹介いただけますでしょうか。

①あなたの思う生路地区の景観のよいところを記入してください。	②生路地区の景観のよいところを創り育てるための課題、心配点を記入してください。	③生路地区の景観のよいところを創り育てるために、みんなでできることを記入してください。
1. 所々に今も見られるのこぎり屋根（機織り最盛期の財産） 2. 郷中の狭い路地と黒壁の家屋（機織り屋さんの雰囲気） 3. 弘法道の丁石・大師道の石碑	新しい家の建て替えと共になくなる生路村らしさ	1. 弘法道の丁石は、その場にずっと設置できるよう、守って行きたい。（1 丁目と 3 丁目は資料館に移して保管されている）

(参加者)

私は石浜に住んでいますが、ふるさとガイドをやっておりますので、生路に関心があります。

しかし、生路にある、3番の丁石がどうしても見つかりませんでした。よく探してみると、資料館にあることが分かりました。その丁石を守っていきたいです。



(司会)

弘法道は、景観計画に盛り込まれています。みなさんも関心が高いのかなと思いました。

また、ご意見を記入いただいたように、「コミュニケーション」や「あいさつ」などは、みんなで行っていくべきだと思います。

続いて伊久智神社に移ろうと思います。

みんなのできることをして、「他の地域の方の客観的な意見をとりこむ」、「住みやすさとの兼ね合い（道の拡幅）」、「守るための法制づくり」、「歴史を知る」などのご意見をいただきました。

道を広げることに對して、折り合いはどうつけていけばいいのでしょうか。先生いかがでしょうか。

(海道先生)

アンケート結果を見ると、生路の路地に住んでいる方からしたら、車がないと買い物やお医者さんに行けないという現実もあります。ですので、話し合いをすることや、全面的にまちなみを変えずに、拡幅をするという工夫をしていかなければいけないと思います。

例えば、津島市は東海地方で一番お寺の密度が高いのですが、市が主導して、国から補助金をもらい、狭い路地の舗装を変え、標識も新しくし、いろいろな形で整備をしています。

残さないといけないところは残して、生活に必要なところは広くして、安全を確保しながらまちづくりを行っていくという計画です。みなさんと話し合いをしながら、めりはりをつけて、守っていくべきところは守り、整備するところは整備をして、お互いが納得した上で進めていってほしいと思います。

(司会)

伊勢湾台風の慰霊碑を知ってほしいというご意見がありました。

①あなたの思う生路地区の景観のよいところを記入してください。	②生路地区の景観のよいところを創り育てるための課題、心配点を記入してください。	③生路地区の景観のよいところを創り育てるために、みんなのできることを記入してください。
・倉が連なる小路 ・富士塚（東浦高校北）の西南の役碑 ・大生紡績など工場跡	綿織物生産の関係機械が残っていない？	伊勢湾台風慰霊碑（町唯一、民間の原田鳴石さんが建立）をもっと知っていたきたい

（参加者）

東浦町で唯一、民間が建てた慰霊碑ですので、みなさんに知っていただきたいと思います。

この碑は、生路の午新田にあります。原田鳴石さんという方がつくられました。

生路では、伊勢湾台風で25人がなくなりました。これは、生路の海拔が一番低いからです。防災の観点でも、この事実を知っていただきたいと思います。



（司会）

森井戸についてもご記入いただきました。

①あなたの思う生路地区の景観のよいところを記入してください。	②生路地区の景観のよいところを創り育てるための課題、心配点を記入してください。	③生路地区の景観のよいところを創り育てるために、みんなのできることを記入してください。
森井戸 東浦高校の北側の丘から、刈谷を見た景色	森井戸を守っていく、住民の減少 世帯が減少しているので、50年後は心配である	森井戸を地区の人にあるよと発信をして、仲間を多く作る！
森井戸	森井戸の中が汚れ、見栄えがよくないのが心配である	一部の区域を決め、まずは作っていく

（参加者）

森井戸については、東浦町の民話にも出てきます。ヤマトタケルノミコトが、こちら

に來た時に、刀をたてて休んだら泉が出てきて、その水でお酒を造ったという伝説です。

森井戸は、3 南組と 3 北組の約 300 世帯で守ってきましたが、今では高齢化がすすみ、約 200 世帯で頑張っているところです。

週に一回、年末に掃除をしているのですが、汚い状態ですので、なかなかボランティアでやっていただくのは大変です。痛みもありますが、補修費が集まらない状態です。

(海道先生)

井戸から水は出るのでしょうか。雨水ですか。

(参加者)

雨水です。

(海道先生)

掘れば水は出るのでしょうか。学生とともに井戸を掘ってみてはどうでしょうか。



(参加者)

掘れば出るかもしれませんね。

(参加者)

森井戸といえば、知多の三名水はご存知でしょうか。藤井神社、生路井、恋の水神社です。大府市の藤井神社は、だんつくがもともとあった神社です。美浜町の恋の水神社は有名ですね。藤井神社、生路井の二つはあまり有名ではありませんので、先に名乗ったもの勝ちかもしれませんね。

(司会者)

海道先生から、大学生とともに井戸を掘ってみたらどうかというお話をいただきました。東浦町でも、「共感プロジェクト」として、藤塚公園で、石浜中自治会が枝払いをして、景観のいい公園にしたという取り組みがあります。

つづいて、東浦高校への道というご意見をいただきました。

①あなたの思う生路地区の景観のよいところを記入してください。	②生路地区の景観のよいところを創り育てるための課題、心配点を記入してください。	③生路地区の景観のよいところを創り育てるために、みんなでできることを記入してください。
東浦高校から平林歯科までの道の風景	景観について関心が薄い	景観についての関心をもつ

東浦高校から石浜豆搗橋 へ向かう道から見た西側 の紅葉、東側の御嶽がうか がえるところ	現在の郷中の所は最近に なって新しい家が出来て 現代風の家が建って来た。 家の色は白色系が多い。	重点地域であることを住 民に知らせること
--	---	-------------------------

(参加者)

私は平池台の出身です。中学校・高校は大府高校と自転車で通学していました。東浦高校から平林歯科まで下る道沿いを6年間通いました。生路の景観を考えたときに、自転車から見た夕焼けがすごくきれいだったことを思い出しました。坂をずっと上っていき、後ろを振り返ると、夕焼けがとてもきれいです。ふと思ったのは、まちなみやきれいな景色というのは、何もないことがいいのかなと思いました。

(司会者)

他に感想などありますか。

(参加者)

景観はよくしていきましょう、まちなみも昔のまま残しましょうという話が続いていますが、防災面はどうなのでしょう。

他の狭い路地のある地域では、消火設備としてどういったものを使っているのですか。道を広げたら景観は悪くなりますが、大きな消火設備が使えます。

何か事例があれば教えていただきたいです。

(海道先生)

東京の下町である墨田区では、路地に家が密集しており、しかも木造の家です。防災面からすると道を広げる必要がありました。しかし、用地を買収するには、お金も時間も必要になります。そこで、道を広げずに、防災機能を上げるため、場所ごとに広場が作られました。その広場は、井戸を設置したり、一時的な避難場所としたり、防火設備を置くこともできる場所です。路地尊という名前でも、お地蔵さんのようなシンボルとなっています。



道をずっと広げてしまうと、逆に車はたくさん入ってきてしまいます。狭い路地であっても、緊急時には対応できるように、安全が確保できるようにするという工夫が必要だと思います。

消防自動車がどこまで入れるのか、ホースがどこまで伸びるのか、安全性をきちんと確認して、何となくで、まちなみを壊さないようにしてほしいです。

しかし、一番大事なことは、みなさんの普段からのつながりと、緊急時の助け合いです。これは、阪神淡路大震災のときにも教訓になっています。人とのつながりが壊れないように、地域の底力を大事にしてほしいです。

(生路区長)

今回、みなさん関心のある弘法道や神社、お寺の話ができました。今、弘法道の要である観音寺が消滅の危機に瀕しています。弘法道を歩いていると、本当に魅力的な景観だと思うので、観音寺がなくなってしまうと、魅力ががたっと落ちてしまうと思います。



丁石の話も出ましたが、その到達点がなくなってしまうと思います。観音寺の和尚さんにお尋ねすると、屋根を補修するのに、約2,000万円必要だそうです。

また、藤塚にある忠霊塔ですが、西郷隆盛が参加した西南戦争に生路からも出兵し、一人戦死しています。こういった機会に、知ってもらうのはいいと思いました。

(司会) 他にご意見のある方はいらっしゃいますか。

①あなたの思う生路地区の景観のよいところを記入してください。	②生路地区の景観のよいところを創り育てるための課題、心配点を記入してください。	③生路地区の景観のよいところを創り育てるために、みんなでできることを記入してください。
・大生紡績、丸彦紡績などの紡績跡地、ガチャマン時代で栄え建物 ・大生の別荘と言われた町長さんのご自宅、人が住んでいる「となりのトトロ」さつきとメイの家 ・丸彦さんの「山の家」ソーラーパネルがたくさん作られているが、生路・藤江の町が一望できるのでは ・生路井一生久知神社―お天道さん―神後院、観音寺―常照寺など郷中	・東浦駅が小さい狭い、観光地にするには、駅が不便←生路の散歩道できるが ・空き家が多く、家を維持・管理することが大変であるため。家を手放す。住みやすく立て直すことになる。 ・ソーラーパネルの設置	わからない

(参加者)

生路に住んでいます。子どもの時からのあこがれの話をしていただきます。私の子どもの頃、時代はガチャマン時代で、両親とも紡績工場で働いている同級生も多くいました。生路の中を歩いていて、素敵だなと思ったのが、町長さんのお屋敷でした。

町長さんお屋敷は、映画「となりのトトロ」にでてくるおうちのように、一度お邪魔してみたいなと思っています。観光地となったら面白いと思います。

もうひとつは、丸彦紡績さんのお屋敷です。一度でいいから、丸彦さんのお屋敷から、生路、藤江のまちなみを拝見してみたいです。

そうすると、生路の紡績跡地、神社などを巡る散歩道ができます。ただし、生路を観光地とするにあたり、東浦駅が問題になると思います。狭くて危険だからです。

(町長)

私の洋館の方は、数年前まで荒れていました。玄関も取れてしまい、シロアリも巣くっていました。しかし、ちょうどその時、世の中に残すべきものは残していかないとはいけなと思い始めていた時期だったので、あえて修繕しました。工夫して修繕していただいたので、当時のテイストは残していただきました。

丸彦紡績さんの別荘は、すごく眺望がよいです。桜の時期は、眼下に桜が広がります。近いうちに、丸彦紡績見学ツアーをやりたいですね。

昔の江戸時代の地図を見ると、郷中の昔の鉤（かぎ）型の路地が今もそのまま残っています。今も昔もそのままになっているということを、伝えていくことができれば、すごくいいなと思っています。

しかし、古いものを残すには、必ずしも生活の便利さと両立しない部分が出てきます。そこをうまく折り合いをつけて、ここは残す、ここは広げないなど工夫が必要だと思います。

大内宿は福島県にある昔の宿場町です。ここでは、あえて通りの舗装をはがし、地面がむき出しになっていまして、それが観光客にうけています。

ただし工夫はしてあって、表に電柱はないのですが、家の裏をまわると電柱があったり、舗装した道路もあったりします。古いまちなみをみんなで保存して住んでいます。このように、裏と表という考え方もありかもしれないです。

神後院の階段から見た風景も好きです。新しく閻魔大王などもできましたが、新しい景観の一部になってきているのかなと感じます。

伊久智神社の大楠は、枝がお墓の方に伸びてしまうと苦情が来てしまいます。本当は、地域でどうしていけばいいのか話し合うことができると思います。

また、路地の名前が出てきましたが、坂には意外と名前がついていないことが多いです。数年前に、商工会が坂の名前を付けました。



たとえば、神後院の坂には、「伊久神坂」（いくじんざか）という名前があります。古いものばかりがいいというわけではないですが、せっかく歴史のなごりがたくさんあるわけですので、大事にできるものは大事にして、新しくつくるものはつくっていくといいかと思います。ただ、新しく作るものは、古いものに合わせたテイストを考えてつくっていくといいと思います。

（海道先生ゼミ生）

初めて生路に来ました。神社がきれいだな、と思ったので、東浦町内のいろいろな神社を回ってみたいと思いました。

先生が、森井戸を掃除してみたらとおっしゃっていましたが、実はやってみたいと思っています、学生を募ってやってみたいと思いました。

（町長）

長時間ありがとうございました。自分たちの住んでいるところですので、その景観のよさを守りながら、時には強調しながら、外から見ていいなと思われるようにしていきたいと思います。そのためには、みなさんの認識が必要だと思います。どういうルールを作れば、景観を守っていけるかということを、考えていきたいと思います。

現在、大生紡績工場跡はほったらかしにしていますが、最近テレビや映画のロケなど注目を集めるようになりまして、気が付くと日本中を探しても寮から工場までがワンセットになっているところはありません。かなり傷んでいる部分はたくさんありますが、自分の力で、残して活用していけたらと思います。

本日はありがとうございました。

